



平成27年5月14日

各 位

株式会社T & Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成27年3月期決算のお知らせ

T & D保険グループ (T & Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命) の平成27年3月期 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績 (生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、6兆5,702億円、前年から6.5%の増加。
- 保有契約高は、60兆3,533億円、前年度末から1.4%の増加。
- 解約失効高は、3兆6,785億円、前年から6.2%の減少。

損益関係 (T & Dホールディングス連結)

- 経常収益は、2兆4,121億円、前年から15.7%の増加。
 うち保険料等収入は、1兆9,580億円、前年から21.6%の増加。
- 経常利益は、1,889億円、前年から1.5%の増加。
- 当期純利益は、942億円、前年から19.3%の増加。

株主配当

- 1株当たり年間配当金は、25円を予定しています。

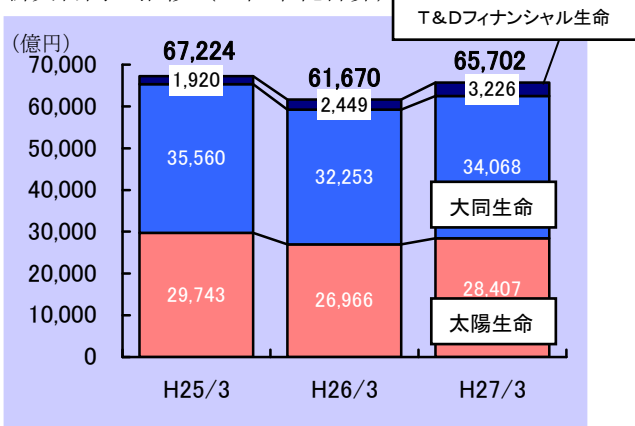
以上

【お問合せ先】

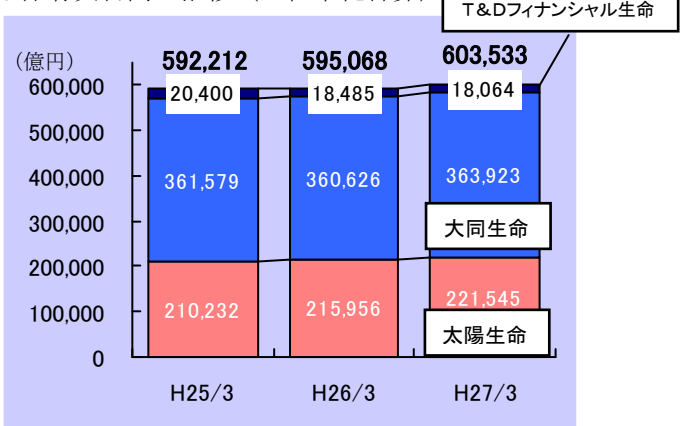
株式会社T & Dホールディングス	広報部	川俣・勝呂	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T & Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	田中	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約高	65,702	4,032 増 (6.5%増)	28,407	1,440 増 (5.3%増)	34,068	1,814 増 (5.6%増)	3,226	776 増 (31.7%増)
新契約年換算保険料	1,613	334 増 (26.1%増)	565	149 増 (36.1%増)	781	117 増 (17.6%増)	266	66 増 (33.6%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	208	42 増 (25.6%増)	94	27 増 (41.2%増)	113	14 増 (15.0%増)	0	0 増 (345.4%増)

(注) 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約高	603,533	8,465 増 (1.4%増)	221,545	5,588 増 (2.6%増)	363,923	3,297 増 (0.9%増)	18,064	420 減 (2.3%減)
保有契約年換算保険料	14,464	258 増 (1.8%増)	6,514	159 増 (2.5%増)	6,783	293 増 (4.5%増)	1,166	194 減 (14.3%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,698	64 増 (4.0%増)	983	2 増 (0.3%増)	684	65 増 (10.5%増)	30	3 減 (9.0%減)

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
解約失効率			5.88%	0.09ポイント低下	6.39%	0.50ポイント低下	5.62%	2.94ポイント低下
解約失効高	36,785	2,422 減 (6.2%減)	12,702	148 増 (1.2%増)	23,043	1,863 減 (7.5%減)	1,039	707 減 (40.5%減)

■ 3社単純合算

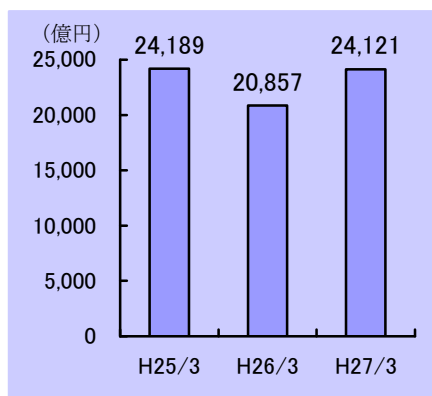
- ・新契約高は、6兆5,702億円、前年から6.5%の増加。
- ・保有契約高は、60兆3,533億円、前年度末から1.4%の増加となり、過去最高額を更新。
なお、大同生命の「Jタイプ※」および「Tタイプ※」を加算した新契約高は7兆2,272億円、前年から8.8%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、62兆1,177億円、前年度末から2.3%の増加。
※定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」および「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」（平成26年9月発売）は、普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額および就業障がい保険金額は上表の新契約高・保有契約高・解約失効高には計上していません。
- ・解約失効高は、3兆6,785億円、前年から6.2%の減少。

■ 各社の状況

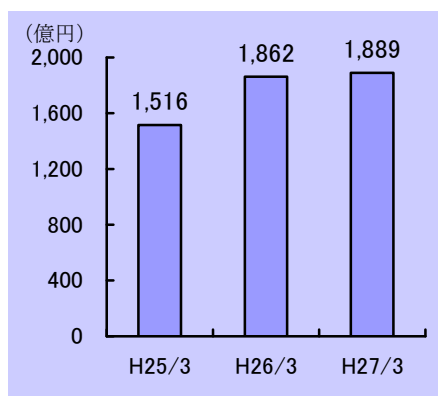
- ・太陽生命の新契約高は、2兆8,407億円、前年から5.3%の増加。
これは主に、主力商品の「保険組曲Best」の販売増加による。
また、保有契約高は、22兆1,545億円、前年度末から2.6%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、3兆4,068億円、前年から5.6%の増加。
これは主に、主力商品の個人定期保険の販売増加による。
また、保有契約高は、36兆3,923億円、前年度末から0.9%の増加。
なお、「Jタイプ」および「Tタイプ」を加算した新契約高は、4兆638億円となり、前年から9.9%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、38兆1,567億円となり、前年度末から2.4%の増加。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、3,226億円、前年から31.7%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。

[損益関係]

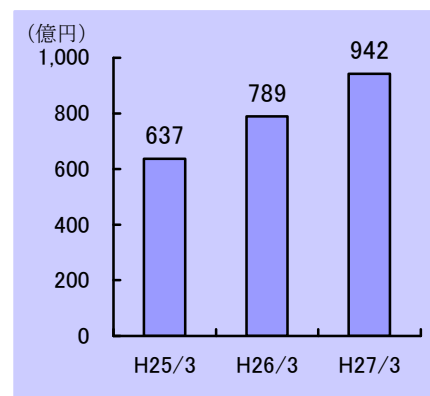
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	24,121	3,264 増 (15.7%増)	10,611	2,038 増 (23.8%増)	9,810	877 増 (9.8%増)	3,821	865 減 (18.5%減)
うち保険料等収入	19,580	3,483 増 (21.6%増)	8,652	2,099 増 (32.0%増)	7,927	798 増 (11.2%増)	2,977	579 増 (24.2%増)
うち資産運用収益	3,842	135 減 (3.4%減)	1,763	5 増 (0.3%増)	1,690	85 増 (5.3%増)	463	185 減 (28.6%減)
うち 利息及び配当金等収入	2,879	4 増 (0.2%増)	1,517	21 減 (1.4%減)	1,302	24 増 (1.9%増)	71	1 増 (1.8%増)
うちその他経常収益	698	82 減 (10.6%減)	195	66 減 (25.5%減)	193	6 減 (3.2%減)	379	1,259 減 (76.8%減)
経常費用	22,232	3,237 増 (17.0%増)	9,935	2,085 増 (26.6%増)	8,835	815 増 (10.2%増)	3,596	881 減 (19.7%減)
うち保険金等支払金	14,015	1,194 減 (7.9%減)	5,664	189 減 (3.2%減)	4,942	282 減 (5.4%減)	3,397	725 減 (17.6%減)
うち責任準備金等繰入額	4,851	4,625 増 (2,046.9%増)	2,819	2,295 増 (437.7%増)	2,312	1,115 増 (93.2%増)	14	62 減 (81.3%減)
うち資産運用費用	664	202 減 (23.4%減)	318	25 増 (8.8%増)	391	72 減 (15.6%減)	18	113 減 (86.2%減)
経常利益	1,889	27 増 (1.5%増)	676	46 減 (6.4%減)	974	61 増 (6.7%増)	224	15 増 (7.4%増)
特別利益	2	1 減 (46.0%減)	1	1 増 (3,764.3%増)	—	2 減 (100.0%減)	—	— (—)
特別損失	83	228 減 (73.3%減)	54	75 減 (58.1%減)	26	149 減 (84.9%減)	1	2 減 (56.1%減)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	325	9 増 (2.9%増)	180	4 増 (2.3%増)	144	5 増 (3.7%増)	△0	0 増 (95.5%減)
税引前当期純利益	1,482	244 増 (19.7%増)	442	26 増 (6.3%増)	803	204 増 (34.0%増)	222	17 増 (8.6%増)
法人税等合計	539	91 増 (20.6%増)	163	10 増 (6.7%増)	291	51 増 (21.6%増)	76	30 増 (65.8%増)
当期純利益	942	152 増 (19.3%増)	279	15 増 (6.1%増)	511	152 増 (42.3%増)	146	12 減 (7.9%減)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	2,823	306 増 (12.2%増)	1,444	20 減 (1.4%減)	1,270	154 増 (13.8%増)	119	170 増 (—)
--------------------	-------	-------------------	-------	-----------------	-------	-------------------	-----	--------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆9,557億円(前年比21.6%増)です。
 3. 特別損失(83億円)のうち51億円は価格変動準備金への繰入(太陽生命:27億円、大同生命:22億円、TDF生命:1億円)です。
 4. 資産運用関係収支(一般勘定)は、一般勘定に関して資産運用収益から資産運用費用を差し引いたものです。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、2兆4,121億円、前年から15.7%の増加。
これは主に、3社の保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1兆9,580億円、前年から21.6%の増加。
- ・ **経常利益**は、1,889億円、前年から1.5%の増加。
- ・ **当期純利益**は、942億円、前年から19.3%の増加。なお、当期純利益については3期連続で過去最高益を更新した。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、1兆611億円、前年から23.8%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、8,652億円、前年から32.0%の増加。
これは主に、個人年金保険および終身生活介護年金保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、676億円、前年から6.4%の減少。
これは主に、新契約高の増加に伴う初期負担の増加による。
- ・ **当期純利益**は、279億円、前年から6.1%の増加。
これは主に、特別損失が減少したことによる。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、9,810億円、前年から9.8%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、7,927億円、前年から11.2%の増加。
これは主に、個人保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、974億円、前年から6.7%の増加。
これは主に、資産運用関係収支が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、511億円、前年から42.3%の増加。
これは主に、経常利益の増加に加え、特別損失が減少したことによる。

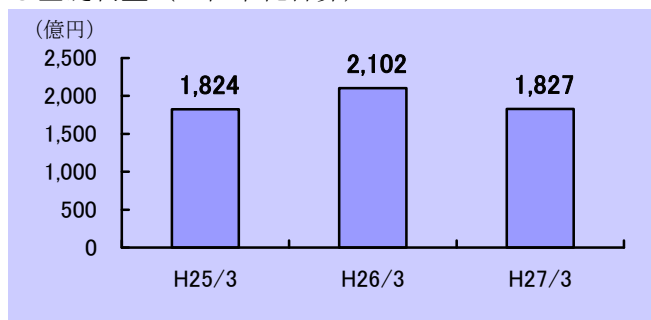
■ T&Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、3,821億円、前年から18.5%の減少。
これは主に、保険料等収入が増加した一方で、責任準備金戻入額および特別勘定資産運用益が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、2,977億円、前年から24.2%の増加。
これは主に、一時払終身保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、224億円、前年から7.4%の増加。
- ・ **当期純利益**は、146億円、前年から7.9%の減少。

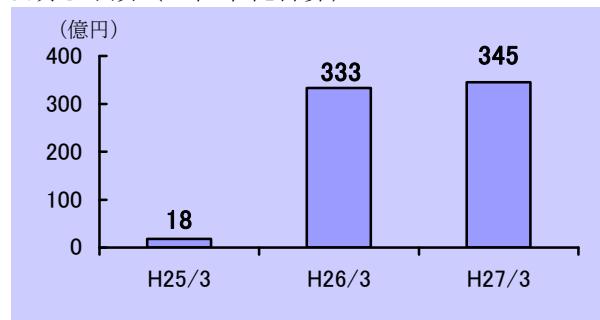
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや額>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,827	274 減 (13.1%減)	681	44 減 (6.1%減)	1,076	30 減 (2.7%減)	69	200 減 (74.3%減)
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	345	12 増	136	19 増	241	2 減	△32	4 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,827億円、前年から274億円の減少。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、681億円、前年から44億円の減少。
これは主に、新契約高の増加に伴う初期負担の増加による。
順ざや額は、136億円、前年から19億円の増加。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、1,076億円、前年から30億円の減少。
これは主に、新契約高の増加に伴う初期負担の増加による。
順ざや額は、241億円、前年から2億円の減少。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、69億円、前年から200億円の減少。
これは主に、変額個人年金保険の保有契約高減少に伴い最低保証責任準備金戻入額が減少したことによる。
逆ざや額は、32億円、前年から4億円の増加。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	—	—	993.9%	12.6pt 上昇	1,363.7%	207.3pt 上昇	1,271.9%	220.7pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,220.7%	105.7pt 上昇	1,001.1%	12.1pt 上昇	1,371.5%	207.6pt 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示していません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,220.7%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、993.9%、前年度末から12.6ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上およびその他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,363.7%、前年度末から207.3ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上およびその他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,271.9%、前年度末から220.7ポイント上昇。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
実質純資産	26,455	6,354増	11,634	3,072増	12,884	2,958増	1,562	313増

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は2兆6,455億円、前年度末から6,354億円の増加。
これは主に、3社の当期純利益の計上および有価証券の差損益が増加したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、1兆1,634億円、前年度末から3,072億円の増加。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、1兆2,884億円、前年度末から2,958億円の増加。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,562億円、前年度末から313億円の増加。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
有価証券の差損益	13,429	5,370増	7,659	2,889増	5,193	2,160増	576	320増
公社債	5,889	1,991増	3,079	997増	2,357	787増	452	206増
株式	3,979	1,447増	2,311	754増	1,668	692増	—	—
外国証券	2,941	1,623増	2,063	1,052増	877	570増	—	—
その他の証券	338	194増	133	78増	204	115増	—	—
金銭の信託	124	113増	—	—	—	0減	124	113増
買入金銭債権	155	0減	71	4増	84	5減	—	—
土地等の差損益	373	146増	75	61増	297	85増	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) > (速報)

※MCEVについては速報版のニュースリリース、および5月18日(月)開示予定のニュースリリース(確定版)をご参照ください。

(単位: 億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
MCEV	22,980	3,278 増	8,686	1,635 増	13,067	1,608 増	958	35 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	930	38 増	325	71 増	581	25 減	23	7 減

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、2兆2,980億円、前年度末から3,278億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(2兆2,712億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(267億円)」の合計額です。
新契約価値は、930億円、前年から38億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、8,686億円、前年度末から1,635億円の増加。
新契約価値は、325億円、前年から71億円の増加。
- ・ **大同生命のMCEV**は、1兆3,067億円、前年度末から1,608億円の増加。
新契約価値は、581億円、前年から25億円の減少。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、958億円、前年度末から35億円の増加。
新契約価値は、23億円、前年から7億円の減少。

[平成28年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成28年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	平成27年3月期実績	平成28年3月期予想
経常収益	24,121	18,700 程度
経常利益	1,889	1,670 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	942	780 程度

1株当たり年間配当金予想は25円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成28年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,200 程度	8,900 程度	2,300 程度
経常利益	770 程度	810 程度	70 程度
当期純利益	270 程度	550 程度	40 程度

(注) 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以上

(参考) 生命保険会社3社の平成28年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,520 程度	560 程度	970 程度	△20 程度
保険料等収入	14,700 程度	5,400 程度	7,300 程度	2,000 程度
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	310 程度	110 程度	230 程度	△30 程度
新契約高	64,100 程度	26,700 程度	34,200 程度	3,300 程度
保有契約高	610,100 程度	225,300 程度	365,800 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.7%程度	6.7%程度	4.0%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命の契約高に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額および「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。

新契約高 : 4兆1,000億円程度

保有契約高 : 38兆8,900億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

(参考) 契約者配当

○太陽生命

- ①個人保険・個人年金保険 前年度配当率を据え置きます。
- ②団体保険 前年度配当率を据え置きます。
- ③団体年金保険 前年どおり、0.25% (一部商品については0.50%) の利差配当を実施します。

○大同生命

- ①個人保険・個人年金保険
 - ・毎年お支払いする通常の配当金
利差配当
 - ・・・予定利率2%以下の個人保険について、責任準備金に対して前年度より0.05ポイント引き上げます。ただし、個人年金保険、一時払の保険契約 (一部の契約は除きます) 及び予定利率2%超の個人保険は、前年度配当率を据え置きます。
 - ・・・前年度配当率を据え置きます。
 - ・・・前年度配当率を据え置きます。
 - 利差配当以外
 - ・消滅時などにお支払いする通常の配当金
- ②団体保険 個人保険・個人年金保険と同様の取り扱いといたします。
- ③団体年金保険 責任準備金に対して0.05%~0.10%の利差配当を実施します。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・前年度に引き続き割り当てはありません。

以上